

NPO法人 泉州佐野にぎわい本舗

代表者	寺崎重紘
所在地	〒598-0057 大阪府泉佐野市若宮町 3-9
設立年月日	2005年 5月7日
URL	http://www.geocities.jp/nigiwaihonpo/



【設立趣旨】

泉佐野市及び泉州地域・旧新川家住宅（市指定文化財）

泉佐野市は大阪府の南西部、大阪市と和歌山市のほぼ中間あたりに位置し、近年関西国際空港の開港に伴い開発が進められてきました。泉州佐野にぎわい本舗の活動地域は泉佐野市及び泉南の全域を対象にしていますが、現在は旧新川家住宅がある佐野町場のPRを中心に保存・活性化に力を注ぎ活動を行っています。役員は理事9名、監事2名と事務局の常勤2名で、会員は一般市民はもとより地元公認会計士や司法書士、医療関係者、教育関係者、建築家や陶芸家など様々な分野の方々に構成されており地元の方だけに限らず他府県からの会員も居られます。

【沿革】

■佐野町場における特色

活動の中心地となる佐野町場は、古くは熊野詣の街道町としてにぎわい始め、江戸時代には漁業、廻船業、醸造業、さらに綿織物業などにより独自の町人文化を開花させました。現在は南海本線泉佐野駅より北側の一帯を示します。江戸時代に栄えた豪商の町家が多く残り、都市計画でできた町ではなく自然発生的に成立し拡大した町のため、道が迷路のように細く曲がっており、他ではあまり見ることができない町並みが魅力です。そこには地元の方々が普段通りの生活しているため町場の暮らしや趣を感じることができます。

また、佐野町場は関西国際空港とりんくうタウンという21世紀の近代都市と隣接しています。関西国際空港という空の玄関口に、江戸時代の古い町並みが隣接するというタイムスリップしたかのような空間が佐野町場の特色といえます。

【活動目的】

■古民家の活用～旧新川家住宅を中心に～

旧新川家住宅は、佐野町場の中心部にあり江戸中期天明年間（18世紀後期頃）、二代目新川喜内が醤油業を営むために建てた町屋で、当時の泉南地域の建築様式を今に伝える建物です。平成4年に泉佐野市が所有し平成5年8月に市の指定有形文化財になりました。平成18年4月からは指定管理者制度により、地元・本町町会とNPO法人泉佐野にぎわい本舗が委託を受けて管理をしています。

一般公開をしている他、イベントの会場や展示会会場として利用・活用され、平成19年の年間来館人数は、約7000人で、平成20年は約1万人の方が入館されました。中には海外から訪れる方もいて、国際交流の一環として留学生が宿泊体験することもあり日本文化に触れていただく交流の場にもなっています。イベントや展示会はにぎわい本舗が主として企画・主催しています。（表1）また、他団体と協力し合い「紀泉古民家ネットワーク推進事業」として大阪府と和歌山県の登録文化財や重要文化財の古民家を散策するスタンプラリー形式のイベントも行っています。この事業は平成18年度文化庁「NPOによる文化財活用モデル事業」の委託を頂きました。

また、佐野町場に多く残る古民家や土蔵の良さや大切さを知って、日本建築の高度な技術や素晴らしさを、次世代に引き継いで欲しい、という願いから、旧新川家住宅を解説した小冊子『古民家の魅力発見ポイントガイド～佐野町場・旧新川家住宅から～』を作成・発行し、小学校や中学校へ配布しました。

【活動内容】

泉佐野の人々とこの地域を愛する方々とともに、文化的景観を保全しつつ、歴史遺産や伝統文化を活用し、各種の文化芸術活動を推進し、観光やまちの活性化をはかり、創造力豊かなまちづくりに寄与することを目的としています。

- ①泉州の歴史・文化の再発見、啓発普及活動
- ②熊野古道、紀州街道などの散策道の保存・復元事業
- ③古民家・町並み保存と活用 ネットワーク事業
- ④江戸の風情・佐野町場 旧新川家住宅の指定管理者
- ⑤観光を活性化させる活動と事業



【活動上の課題と今後の展望】

泉州佐野にぎわい本舗を設立し佐野町場PRに力を注ぎ始めた前と後では町や人に変化が起こりつつあるように思います。イベント時の来館の他にも、関西空港のトランジットの時間活用などわざわざ、南海電鉄泉佐野駅で降り佐野町場の町並みを見学に来られる方が増え、佐野町場は少し、にぎわいを取り戻し始めるきざしを感じています。まずは、佐野町場の活性化の成功を第1目標として、泉佐野の地域全体の活性化につなぐ第一歩になればと考えています。

今後の計画としては、古民家を壊さずに文化財として次の世代に遺し、佐野町場を江戸風情ただようレトロの町にする計画を進めています。佐野町場に多く遺っているものや活用されずに眠っている古民家や土蔵をギャラリーやまちかど博物館など観光資源として発掘・活用し、手を加えないありのままの新しいタイプの観光地にしたいと考えています。



表1 活動実績

平成17年	
5月	てくてく歴史散策ワークショップ
10～11月	第1回泉州・紀北地域 古民家ネットワーク事業
11月	「第1回平成ルネッサンスin 佐野町場」市民秘蔵浮世絵展他
平成18年	
4月～	泉佐野市指定文化財・旧新川家住宅 指定管理者
5月～	新川家朝市 以降 毎月第3土曜日に実施 「第2回平成ルネッサンスin 佐野町場～街道とまちのにぎわい～」(大阪楽座事業に指定)
6月～	落語「佐野にぎわい亭」 年4回
9月	薄成一の切り絵展「懐かしき日本の風景」於・府立弥生文化博物館 指吸政昭絵画展「明日に向かって～交通事故を乗り越えて～」
10～11月	第2回泉州・紀北地域 古民家ネットワーク推進事業 ('06文化庁文化財活用モデル事業に指定)
平成19年	
2～3月	新川家ひなまつり展 (市民から35セット寄贈)
4～5月	「第3回平成ルネッサンスin 佐野町場～夢あかり～」(関連11事業)
8月	佐野町場13箇所地蔵尊めぐりスタンプウォーク
9月	佐野町場活性化研究会発足(産官学)(関空対岸地域を国際観光交流地区)
10月	第3回泉州・紀北地域 古民家ネットワーク事業と古民家保存のための次世代語り部育成事業
平成20年	
2～3月	新川家ひなまつり展(含む・餅つき大会)
3月	冊子発行『古民家の魅力発見ポイントガイド～佐野町場・旧新川家住宅から～』
4～5月	「第4回平成ルネッサンスin 佐野町場～新川家・町家の楽しみ方～」(大パッチワークキルト展など)
5月	第1回「佐野町場ろうそく能」「鞍馬天狗」の公演 満席 神崎智子展(版画家) 旧覚兵家米蔵(国登録文化財指定初公開)
10月	第1回佐野町場 市民ギャラリー展(市文化協会と共催)
平成21年	
2～3月	絵てがみで文化財を描こう～価値と魅力をクローズアップ～('08文化庁文化財活用モデル事業)
5月～	泉州佐野町場検定(郷土)の準備開始(検定実施は平成23年度予定)